OISCA

― 人と育む、地球といきる ―



(TOPIC)

「心に木を植える」

タイ マイチャルーン村の森づくり

NOVEMBER 2024 1



√ 日本で学んだオイスカ研修生の今を紹介します。 ∕ ∕



FILE No.

スラメット・ウィドド(60)

型 愛称:ウィドド

■出身国 インドネシア

■研修歴 四国研修センター/

農業一般コース(1986年1月~87年3月)

■現在の職業 農業



スタッフも研修生もみんな仲が良かった (四国研修センター・後列右から4人目が本人)

ジオイスカは我が人生参

私はウィドドと申します。1986年から87年にかけて四国研修センターで農業を学び、帰国後はインドネシアの研修センターの指導員を経て、長く日本語ガイドとして働いていました。私が住む中部ジャワには世界遺産のボロブドゥール遺跡群があり、1991年に天皇陛下(現在の上皇陛下)が訪問された折、ご案内役を務めたことは今でも私の誇りです。

OBとしてオイスカ活動を通じて地域に貢献できた取り組みを2つ紹介させてください。2006年、中部ジャワ地震で倒壊した小学校を再建するため、ジャカルタにある日系団体の支援でオイスカから日本人の大工が派遣され、100日間で8校の校舎を建て直しました。うち7校は「子供の森」計画参加校で、校庭には植えた木が大きく育っています。また、10年にムラピ山が噴火した際は、自宅を支援拠点にし、支援物資の配布や炊き出し、被災地のがれきの

撤去や住宅の清掃などを約5ヵ月間にわたって続けたこともあります。

今ではすっかり日本語を忘れてしまいましたが、若き日に四国研修センターで学んだ仲間たちと一緒に作り、歌った「オイスカは我が人生」は今もしっかり覚えています。

「♪オイスカスピリット 強い心

力の限り頑張ろう~ オイスカ万歳♪」



日本からの支援で再建した校舎(後ろ)と「子供の森」計画で植えた木々

「私は、妻と三人の子供、

五人の親族を日本人に殺さ



よってのみ消え去るものである」と重なります。

憎悪は憎悪によって消え去るものではなく、ただ愛に

先の講和条約でのスリランカ代表の言葉

この声明は、

今日

に一日も早く判ってほしいと強く願っています。

って消え去るものではない」ということを紛争の当事者

の繁栄があるのも一面の事実です。「憎悪は憎悪によ

本はこのような外つ国の人々の寛大な精神によって

許し得ぬを許せし人の名と共に

許し

得ぬを許す大いなる度量

モンテンルパを心に刻

の時に発表された大統領声明の要旨が次です。 年六月下旬、 秀忍教誨師の真心の働きかけなどによって、 にフィリピンで彼らを献身的に支えてくださった加賀尾係者の方々が同様の嘆願をされたことと思います。さら に全員釈放の嘆願書を出されています。きっと多く はまだ戦犯として捕われている人々が百五名いました。 日本は主権を回復しました。しかし、 和二十七年四月、 オイスカの創立者は民間の立場からキリノ大統領 キリノ元大統領の子孫とお会いになられました。 平成二十九年に発表された皇后陛下(当時) やっと全員釈放の決定がなされました。 サンフランシスコ講和条約が発効 陛下と共にフィリピンを訪問され フィリピンに 昭和二十八 、の関

Contents

04 OISCA NEWS 海外/国内

オイスカ便り 西日本支部 06

TOPIC 80 「心に木を植える」

他者の心の琴線に触れることになれば本望である。

. 士の愛は……世界平和の礎となるものである

を突き動かした善意の心が人類に対する信頼の証として 悪の念を残さないために、これを行うのである。……私 が国に末永く恩恵をもたらすであろう日本人に対する憎 かった。私は自分の子供や国民に、我々の友となり、我 れた者として、彼らを赦すことになるとは思いもよらな

タイ マイチャルーン村の森づくり

10 今月のこの人 オイスカタイ・チェンコン地区フィールドスタッフ スティン・マンユアン

OISCA SQUARE オイスカ歴史さんぽ/OISCAレストラン/お!ススメOISCA

14 INFORMATION 新着情報 ほか

What's OISCA

オイスカ・インターナショナルは、「すべての人々がさまざまな 違いを乗り越えて共存し、地球上のあらゆる生命の基盤を守り育 てようとする世界」を目指して1961年に創立された国際協力NGO です。現在、41の国と地域にネットワークを持ち活動しています。 公益財団法人オイスカは、1969年にオイスカ・インターナショ ナルの基本理念を具体的な活動によって推進する機関として生ま れ、主にアジア・太平洋地域で農村開発や環境保全活動を展開。 特に人材育成に力を入れ、オイスカの研修を修了した現地の青年 は、各地で地域開発に取り組んでいます。国内では、農林業体験 やセミナー開催などを通して啓発活動を積極的に進めています。

OISCAという名称の意味

rganization 機構 ndustrial

産業

精神

化"のバランスを大 事にした発展を世界 規模で推進していく ことを目的として、

人間の生存に不可欠

な"産業・精神・文

ultural

piritual

文化

dvancement 促進

このように名付けら れました。

NOISCA NEWS!

最新ニュースをご紹介します。 S C B 国内 オイスカ・インターナショナル 才

国連生物多様性条約事務局 イスカ D 新任· 活 事務局 動を高 く評 おり、 長が本部を訪問

裁と懇談しました。 2名が8月24日、 ショーメイカー事務局長ほか SCBD) オイスカは20-0年、 ーナショナルの中野悦子総 のアストリッド・ オイスカ・イン オイスカ本

育むことの大切さを各国の学 SCBDが提唱するグリーン 校や地域で訴えてきました。 林などを通じて生物多様性を ウェイブの活動にも参加 多様性条約締約国会議 協力のための覚書を交わしま 古屋市で開かれた第10回生物 ·IO) の際にSCBDと相互 懇談では中野総裁が た。それにもとづき、 「子供の森」計画に加え、 従来 (C O

> がありました。 性に驚きます」 オイスカの活動の先見 とのコメント

10月下旬には南米コロンビ

出席しました。 ティン会長をはじめ会員らが イスカを代表してオイスカ・ てほしい」と希望があり、 り入れるためにもぜひ参加し CBDから、「新たな視点を取 オイスカの活動を評価するS アのカリでCOP16 メキシコ総局からホセ・マル こが開催、 オ



精神と物質が調和した社会を が自然と調和して生きる世界

左から3人目がショーメイカー事務局長

神文化の重要性が注目されて 調和した生活を大切にする精 物多様性のためには、

自然と

4月に就任したばかりのショ スカ創立の理念を説明。 つくる」という60年前のオイ

今年

ーメイカー事務局長からは、

年は国連の会議でも、

生

遊び場づくりで心 9月13~16日、 半島地

国内 山梨県支部

の 地

ケアを目指

ス

ター

を目的としています。 面から被災地を支援すること つくることで、心のケアの側 らす子どもたちの遊びの場を たままとなっている地域に暮 ラが復旧せず、家屋も倒壊し まだ道路や水道などのインフ 連携して実施するもので、 場木工所 (本社:広島県) 育事業でつながりのある何 ました。この取り組みは、 支援のための現地調査を行い 支部の推進する木育を通じた 県珠洲市や輪島市を訪問し 能登半島地震で被災した石川 3名が、今年-月に発生した 山梨県支部

倒壊した家屋がそのままの状態で残されていた

出ない、仮設住宅にも入れな らいながら、保護者や施設職 もちゃやつみ木を体験しても 各施設で子どもたちに木のお ラムの有用性を感じることが 自然の大切さを学びながら自 木育活動の実施で磨き上げて が見られました。また後日、 ながら一緒になって遊ぶ様子 らの関心も高く、 声が大きいばかりか、 設では、特に子どもたちの歓 込んだ「森のつみ木広場」や 返りまでのプログラムを組み ワーに始まり、片付け、 した。しかし、つみ木のシャ るコメントは上がりませんで 況に不安を持つ声が聞かれる い人がいるという切迫した状 員への聞き取りを実施。 れ、これまで約20年にわたる 「広場」の開催依頼も寄せら 木育ひろば」を実施した施 な発想を促す独自のプログ はじめは心のケアに関す 子育て支援センターなど 木の温もりを肌で感じ 笑顔を見せ 大人か 振り

現地の状況とニーズ把握のた 初めての訪問となる今回は、 水が

夢中になって遊ぶ子どもたち

場」を開催するとともに、 ています。 災地の人々の気持ちを明るく が、ひいては復興に向けて被 の心を支え、笑顔にすること そのような中で、子どもたち く余裕がないのが実情です。 けの力では遊び場づくりに割 地の方々がいつでも実施でき 育レクチャーを実施し、 することにもつながると考え 今後、支部は継続的に「広 しい状況が続き、 現 が地だ

を進めていく予定です。 ハウの移転を視野に取り組み るようワークショップのノウ 被災 木

害に遭われた皆さまに、 りお見舞い申し上げます。 に能登半島を襲った豪雨で被 現地調査を実施後、 同 21 日

できました。



蚕糸業の発展普及のヒントを求めて 9月1~7日、 ィリピン4州の養蚕担当者が来日 フィリピン

■內 日本NGO連携無償資金協力事業

これは、 所では、 の担当者6名が参加しました。 進の中心的な役割を担う各州 サミス州の蚕糸業の管轄、 事業対象地であるベンゲット 域住民の生活向上支援事業」 伝統文化の復興、 した「養蚕普及、 ぶ訪日研修を実施しました。 の歴史背景や技術、 機関の代表者が日本の蚕糸業 の科学技術省所管繊維研究所 (PTRI) 茨城県の蚕糸科学技術研究 ヌエバビスカヤ州、 環として行われたもので 繭から生糸をつくる 今年3月にスタート など、 発展及び地 拡大による 蚕糸関係 知識を学 東ミ 推

入れ、先代の芦澤定弘氏は現地でも数々の養蚕農家を指導した。 今回説明してくれたのは、6代目の芦澤洋平氏(左奥)

ガルシア=アルバノ大使と面

大使館でミレーン・亅・

最後に在日フィリ

おいて、

オイスカ・インター

ク記念青少年総合センターに

10月9日、国立オリンピッ

55名の参加を得て国

I際理·

事会を開催

野利弘副総裁

を

偲ぶ会も

オイスカ・インターナショナル

研修での学びについて報

成果の報告などが行われまし

新支局承認、

各国の活動

の差が深刻化する中、

より55名の参加者が一堂に会 催されました。二の国・地域 ナショナルの国際理事会が開

及を推進していきます。

初

インドで農業開発活動に

ナショナル総裁は、

設立当

中野悦子オイスカ・インタ

者とさらに連携を深めなが

各州での養蚕の発展、

しました。

今後、

今 回

Iの参

からは、 など、 るなど、 や繭を食品や化粧品へ活用す という概念にとらわれず、 減少傾向にある中、親から子 ザワ養蚕を訪れ、養蚕農家が した。 献した富岡製糸場を視察。 で使用する各種機械について たとの感想が聞かれました。 る事例に触れました。参加者 に代替わりし、繭から生糸へ れた工女養成が行われたこと 導する人材の育成を視野に入 するにあたり、機械製糸を指 及び絹生産の発展に大きく貢 また群馬県では日本の近代化 専門技術者から説明を受け、 業の発展に向けて参考になっ 先進的な機械技術を導入 さらに山梨県ではアシ 歴史についても学びま 新たな分野へ挑戦す 国内のさらなる蚕糸

までの工程や、 糸の品質検査

現在、 当時活動に参加した植林グル の支援は終了していますが、 ヒーを植えたのが始まりです。 植林が行われ、その際にコー 年にかけて日本からの支援で 同植林プロジェクトへ

> 地域で、 多く、 管理を続けています。 まれます。 にぎわい、 ェクト地周辺は避暑地として による安定した収益増が見込

住民の生計向上につながる森 海外インドネシア コーヒーによる安定的な収益を実現

づくり

日本からの支援のおかげ」 の生計向上が実現できたの ンは、「森づくりを通して住民 コーディネーターのリファア

ع は

が軌道に乗り、 地域住民によるコーヒー栽培 アル県に位置するラウ山麓で ・が生産されています。 同地では20-6年から21 インドネシアのカランガニ 良質のコーヒ

> ープのメンバーらが中心とな 自主的にコーヒーを植え、 コーヒーの生産・販売 観光に訪れる人々も 貸別荘が建ち並ぶ プロジ

> > ープのメンバ

ループとの交流を続けている 林地のモニタリングや植林グ

定期的に現地を訪問し、 ※コーヒーを2名様にプレゼントします。 謝意を示しています。

袋詰めをする植林グルー

理事会後には7月 国際理



各国理事から活動報告がなされた

身的な働きについて書かれた 取り組んだ日本人篤農家の献 インド人専門家の記録をもと う時間を思い思いに過ごして 参会。故人との思い出を語ら 事のほか全国から-00名が 偲ぶ会も執り行われ、 永眠した故中野利弘副総裁を いました。 また、

5



収穫感謝祭では髙田川部屋力士一行による餅まきも行われ、毎年会場は大盛り上がり

います。 解を深めることにつながって 組んでいる活動で地域との信 産物販売や豪華なステージプ に訪れる来場者も多く、 中心とした各国からの海外研 頼関係ができており、 感謝祭・秋」など、長年取り ログラムで盛り上がる「収穫 「集まれ! 生に会えると、 な雰囲気の中で、 はオイスカのアット 特に、「収穫感謝祭 毎年楽しみ アジアを 相互理 地域 ホー

児島市での植林、 多大なご尽力をいただいてお 議員連盟をはじめ、 域の方々には、 農業体験・交流イベント 推進協議会、 福岡県朝倉市や東峰村、鹿 心より御礼申し上げます。 地球体験村」、農 支部の活動に 2つの県議会 子ども向け 会員や地

ちが育てた美味しい有機野菜 も届くということで、 ファンディングを開始しまし 主催のクラウドファンディン コロナ禍に、九州経済連合会 ディングです。202-年の 取り組みが、クラウドファン グに参加したことをきっかけ また、 生懸命書いたメッセージ 翌年から独自のクラウド お礼の品として研修生た 果物に加え、 近年力を入れている 寄附者 研修生



キュウリの誘引をする研修生



にすっかり定着しています。

西日本支部 会長 瓜生 道明

まいります。 加につながるよう取り組んで より多くの方に活動を知って ンを継続していくとともに、 の方々とのコミュニケーショ てくださっている会員や地域 っています。 いただき、 だけている理由のひとつとな オイスカを身近に感じていた NSを通じて発信しており、 「まるごと! にも非常に好評です。 人技能実習生の受け入れの増 今後も、オイスカを応援し ばが毎月発行している広報紙 こうした活動の様子は、 新たな会員や外国 西日本」やS 支

支部概要

西日本支部は、北九州、朝倉、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県 の各推進協議会から構成されています。また、福岡県議会議員連盟(会員86名)と、佐 賀県議会議員連盟(会員20名)があり、推進協議会、県議会議員連盟ともに、西日本研 修センターの研修生との交流会や各種産業視察、海外視察など、積極的に取り組んでい

会員数は735件。3月には毎年200名近くの支援者の皆さまの参加のもと、研修修了式 を盛大に執り行い、研修生は皆さまへの感謝を胸に帰国していきます。

成6)

年に設立され、

西日本支部は

ってきました。

九州内の8つ

年の開設以降、 修センターは、 31年目を迎えます。

28の国と地域

68

(昭和43) 西日本研 今年で

生を受け入れ、

農業研修を行

から約-530名の海外研修

全国の支部や支援組織を ピックアップして紹介します



西日本支部

研修 州全域にオイスカをPR セ タ 支援 を軸



修に取り組んでいます。 間を通して約70品目の栽培研 果樹2hをフルに活用し、

年

研修だけではなく、

九州の各

どとの交流研修も行っていま

ー年間の研修の中で、さ

しながら研修生が各県を訪問 オイスカ推進協議会を拠点と

大学や企業、

専業農家な

保全型農業研修をメインとし ポートしています。特に環境 中心に、 国内最大の研修センターがあ から研修生を受け入れている 福岡県には毎年10ヵ国前後 水田13 ha、 西日本支部は人材育成を センターの運営をサ 蔬菜圃場2ha

> 深く理解する機会となってい 西日本支部では、 今後もた

事にも積極的に参加して多く まざまなイベントや地域の行

ます。時期を同じくして、 場者に楽しんでいただいてい 支部としても力強くサポート 「収穫感謝祭・秋」を開催。 研修センター最大のイベント す。まずは11月9日に西日本 くさんの行事を予定していま 例年-800名近くの来 髙

の方々と出会い、 日本をより

研修生も参加者の方々と交流 ャリティゴルフコンペを実施 員の皆さまにお声がけし、 なっていきます。2月には会 を幾度となく開催。これを経 もち米)を使った餅つき大会 楽しいひと時を過ごしま 研修生は餅つきのプロに



修了式で日本の歌を歌う研修生

の西日本研修センターにお越 皆さん、ぜひイベント満載 再会を誓い合う場面も 大歓迎です。

豊かな土地で育んだ絶品農産物!

何といっても九州はアジアの玄関 海あり山あり温泉あり……と、 挙げればきりがありません。

豊かな自然に囲まれて、西日 野菜もお米も 本研修センター(以下、センタ 一) の海外研修生も楽しんでい ます。特に食べ物は、皆さんご存 じの、豚骨ラーメン、もつ鍋、ゴマサ バの刺身、焼き鳥、馬刺、辛子れんこ ん、薩摩揚げなど、さまざまです。中 でも自慢できるのは、センターの圃場 で研修生と育てた農産物。野菜本来の 味を再認識できる絶品ぞろいです。昭 和天皇即位の大嘗祭で献上米を育てた、 主基斎田周辺のお米も格別! 食べ過 ぎ注意です。センターでは、クラウド ファンディングを行っており、支援の お礼として農産物をお届けしています。 今年度は、9月時点で3万円コース58 件、6千円コース49件のお申し込みが 203万円の寄附をいただきまし た。心のこもった農産物をぜひお楽し みに!

西日本支部事務局長 廣瀬兼明

2024年度 西日本研修センター支援 ラウドファンディンク

> 6千円コースは 随時受付中!



12月には、 緑米 (古代米の

しください。

感謝祭では、

力士一行による

感動的です。

おいしい塩ちゃんこが食べら

がーヵ月ほど続きます。 力士という不思議な共同生活

収穫

らと、

-のおいしい野菜は、研修生の元気の源にもなっている

や海外研修生、

かたや日本の

ただきます。

母国で地域の発

展を担うリーダーとなった彼

ターに滞在。期間中は、

かた

の一年間の研修成果を見てい なった多くの皆さんに、 式」が行われます。

所のため、

10月下旬よりセン

田

川部屋一行が大相撲九州場

よいよ「海外研修生研修修了

お世話に 彼ら

そして3月8日には、

絶品です!

「心に木を植える」

タイマイチャルーン村の森づくり

今年、タイ北部に位置するチェンライ県チェンコン郡で、 水源林の森を再生させる新たな挑戦が始まりました。

同地では、山岳民族による森林の再生能力を超える焼畑利用などにより、 木々が消失。一面はげ山となったことで、麓のマイチャルーン村に 届く水量が減り、農業を生業とする住民の生活に大きな影響が出ています。 隣村出身のスタッフ、スティンさんと村の住民たちの思いによって スタートしたこの取り組みは、一歩一歩着実に前進しています。

(文・タイ駐在代表 春日智実)





村づくりに取り組んできまし タイにおける農業技術指導を 始して以来、 ン県を中心に、森づくりや アユタヤ県、 チェンライ県 ラノ

ら……?

オイスカは、

975年に

日雇いの仕事に行かなくても になることで生活が支えられ、

がマイチャルーン村とその隣 たスタッフがいました。それ りました。その願いを受けて ィン君(10・11ページで紹介) にあるホイエン村出身のステ してできないか」と訴えてき たい!」と声を上げた村があ くりを知り、「自分たちもやり ゙゙オイスカのプロジェクトと オイスカの森づくりや村づ

て当事者として見てきたから た取り組みを、近くで、 ていくことができる。 家族揃って自然の中で暮らし こその願 だけど活動資金は いでした。 ホイエン村のプロ どこ そうし そ

栽地を保全・管理するととも 年頃から住民主体の活動と トを実施しました。 活かして生計向上プロジェク て再始動。16~19年には、 くりを行っており、 大きく育った森の恵み スティン君の村でも森づ 森が豊 2 0 1

Profile >

春日 智実

(かすが・ともみ)

りますから!」そう言って、

ちょっと酔っぱらいながら私

私はねえ、うれしいんですよ。本当にありがとう!

頑

村長。その気持ちが、なんだかとてもうれしかったのです。

の手を固く握った、マイチャルーン村のスラポン・アノマ

大学在学中、オイスカの「30 日間植林ボランティア」へ参 加したことをきっかけに、卒 業後1995年にオイスカの国際 協力ボランティアに参加。翌 96年から、職員として本部、 四国研修センターでの業務に 従事。99年~2002年には、青 年海外協力隊員として、スリ ランカで国際協力活動を体験。 終了後オイスカに復職し、現 在に至る。長野県出身。



昔ホームステイでお世話になった アカ族のお母さん(写真右)と





上/開会式は120人が参加。大勢で植えると、3千本もあっという間 下/作業の合間にみんなで食べるお昼ごはんは格別

と言われてきました。 高まっていきました。 功してから「ありがとう!」 そしてようやく活動 徐々に互いの仲間 やっとこさスタートし 冒頭の村長の言葉を受 本当の勝負はこれ プロジェクトが これまでの 心がジーン でも今 が開 意識 始 を知り、 育む人を育てるということ。 デアを共有する中で村の状況 森にしたいのか」「どんな活動 ワークショップは、 たちの森を誇りをもって守り 自然の大切さを理解し、 にしたいの ただ木を植えるのでは 種をまく作業です。「どんな ーにしています。 「心に木を植える」 今後の方向性を探っ かし 具体的なアイ

そのため

NSで

呼びかけたり、

企業に

動地では、

お

に回ったり。

さらに、

成

こから始まる努力の毎日。

S そ

け

取ったのです。

ついに覚悟を決めました。

でき、

今年4月8日~5月22日の期

「森を守ることは、

生活

は、

ファンディングにも挑戦。

としました。 からと思いつつ、

の心を一つにしていくのです。

·返し持つことで、住民たち

ていきます。こうした場を繰

と文化を守ること。

たば

いかり。

生プロジェクト」

クラウド タイの森 集め

てみせます!」

と宣言し

踏みしていましたが、「24 お金はありません。

トしましょう!

必ず 年は 助

(ODA)

ですが、

オイスカにはそんな を活用したも

村の ブ中

住民たちと何度も顔を合 継でのイベント企画など ための情報集めや、

入り、

住民とのワークショッ

開

発の専門家チ

ムが村に

旦

まずは植林や地

ブを行いました。

オイスカタ

ていきます。

私たちも引き続きサポート を皆さんに届けられるように、

これは、 なく、

自分

をモ

|年間足

わせて苦労をともにするうち

ジェクトは日本の政府開発援

R

てくれます。 キイキしているのです。 らけでも、 住民たちが下草刈りをして ってドロドロになった場所で 栽予定地に向かうと、 会社 会式では、 がありました。 良 クトを始められた喜びでイ そしていよいよ植林へ。 計画支援者 かったなあ。 (賛助会員 ずぶ濡れでも、 彼らは笑顔を向け ようやくプロジ 前 田 8月4日の 苦労した甲 0 建設工業株 皆さんも 雨が降 泥だ 本当

> えました。 お越しくださり、 3千本を植

> > ながるように、

そしてその

う! た後 ちょっと早すぎる「ありがと ることができました。 とても良 トですが、 切り発車で始めたプロジェク て 返 い 5 6 こ支援、 し やワー いきます。 今後は、 在、 な 植 ha がら、 ご協力に支えられ、 すでに の植林は終了しまし い形でスター クショップを繰 山 本当の成果を出し たくさんの方々の 資金がなく、 火事対策を進 住民との話し合 下草刈りや 今 牟 · 度 村長の -トを切 分 見. \widetilde{b} 施 ij

の 「ありがとう!」

クショップでは、みんなの意見を紙にまとめて、グループごとに発表

панаритичний принципантичний принципантичний принципантичний принципантичний принципантичний принципантичний п マイチャルーン村の森づくり 実施スケジュール

2024年 3月 ●植栽地の調査

5月 ●住民との会議、プロジェクトの周知、 住民グループの結成、苗木の準備開始

7月 ●植栽地の準備、整地作業、ワークショップ

8月 ●植林開始、青少年への啓発活動

10月 ●植栽地の下草刈り・補植・施肥などの 管理作業 I回目

12月 ●ワークショップ

2025年 I月 ●植栽地の下草刈り・補植・施肥などの 管理作業 2回目

> ●森林火災研修、防火帯作り、 青少年への啓発活動

TAMBAH MEMBUMBANAN MEMBUMBANAN MEMBUMBAN MEMBU

※全体で100haの緑化を目標に、まずは第一期5ヵ年計画(24-28年)で 32haを植栽する予定です。

〈タイの活動のご支援はこちら!〉





春日駐在代表が NBS(長野放送)

の番組に出演!

今月のこの人

スティン・マンユアン(39)

オイスカタイ・チェンコン地区フィールドスタッフ



隣 を取り戻し が幸せに たい 暮らせる

タイ北部のチェンライ県チェンコ

山岳民族として生まれ育ったと

頃か

現在

したり。 たり、 に持ち帰って家族と食 などの果物やタケノコを採って、 森にいました。 ら親しまれてきたのでしょうか のことで、森や自然には小さい 私は子ども時代、 売ってお小遣いに そうして一年か マンゴーやマファイ ほとんどいつも

家

自転車を買ったのは楽し けて自分でお金を貯めて 思い出です。

小 計画の活動に参加 学生の頃、 子 供 の 自然豊かな

ふるさとき 描いてみよう!

きな山火事が起きてしま

それでも、

15年には

ティンさんの森づくりへの思いにつ

て聞きました。

イチャルー

- ン村の

森づくり

8 . 9

ージで紹介)

にも意欲を見せるス

真面目でひたむきな姿から地元の信

6年からオイスカに仲間入りし、

を得て、

チェンコン地区の現場の

として活躍しています。

マ

計向上プロジェクトが始まった20 資金協力による森林再生と住民の生 ンさん。同県で日本NGO連携無償 もふるさとで森づくりに励むスティ ン郡ホイエン村に生まれ育ち、

活動の下地になっているのですね

貢献したいと、25歳頃からオイスカ えるだけではなく、 は昔から山火事が多いため、 人になってさらにふるさとの発展に てくれることを学んでいたので、 けでなく、人々の暮らしを豊かにし 員として参加しました。 森づくり活動に、村のメンバーの 子どもの頃から、森が自然環境だ 植林サイトに延 タイ北部 木を植

林火災の被害が減りまし 対策を講じたことで、 方法も指導してもらい、 法や下草刈りなどの管理 焼しないよう、 防火の方

消火活動にあたる森づくりメンバー。森林保全は山火事との闘いでもある

なっています。 保全を続けていくモチベーショ とができました。 夫を加えて、もう一度再生させるこ どを帯状に刈り、 て悲しかったです。 分が焼失してしまい、 を合わせてよみがえらせた森の いました。この時 、火が燃え広がらないように下草な で再び 、ぎて何もできず、これまで皆 態にしたもの) 知恵を出し合い、 この喜びが、 を広げるなどのエ 燃えるもののな は そんな中で とても悔 火の勢 防 火帯 ŧ 大部 が

今後の目標をお聞かせく

然はきちんと管理すれば、

改善され

ていくということ、よみがえった森

一験から知ることができました。 らも恵みが得られるということを

さまざまな経験が今の森づくり

がえっていくのを実感できたのは、

何より良い体験でした。そして、

自

の手で木を植えたことで、 ました。そうした場所に、

緑がよみ 自分たち や山火事などで木々がなくなり、

山となっているところが多くあり

一々に囲まれていますが、 たことも覚えています。

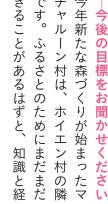
焼畑農業

私の村は

ートや靴をもらってうれしかった

日本の方々が植林に来てく

村です。ふるさとのためにまだまだ イチャルーン村は、 できることがあるはずと、 今年新たな森づくりが始まったマ ホイエン村 知識と経 の隣





[とある日の] スティンさんの1日

この日は、チェンライ県マイチャルーン村の 仲間たちと森づくり活動を行いました。



07:30 牛の世話

飼っている牛を草が食べ られる場所に移動させる。 植林地の下草を食べさせ ることで草刈りの手間が 省け、山火事の防止にも つながります。



牛の世話も

08:00 朝食

08:30 仕事道具の準備

作業に使う鎌や靴、草刈り機などを準備。

09:00 植林サイトへ

集まった村のメンバーに その日の仕事を説明し、 草刈り、たい肥やり、補 植などを分担して仕事開 始!



天気は快晴!

12:00 昼食

メンバーがそれぞれ持ち 寄ったおかずをシェアし ながら、楽しいひととき を過ごします。



17:00 仕事終了!

仕事のあとは、そのまま牛の世話もこなします。 牛が逃げてしまい、あわてて捕獲することも……。

18:00 夕食

ご飯を食べて、テレビを見ながらリラックスタイム。 今日もお疲れさまでした!



森づくり本格始動のため、マイチャルーン村の人々と入念に打ち合わせ

くりを成功させたいと思ってい 「を上げ ヘカでプ が あ きした。 ジ 住 ・エク 三 民 と まずは、 共に トができ 取り この な 組 い む 森づ かと オ

生できたよう

に

1

チャ

ル

た

ち

が

朩

1

エン

村で見事

な森

たち

の生

計向 な

上に

もつなげ

て

い の

きた 住民 · ン 村

で

す

で

ŧ

豊

か

森を

取

ij マ

戻

ڵؚ

村

ス

T を のホ 岳民族カム族出身。 場 き 設 で 産 ムステ づくりに た 置 物 た、 Ļ 活 を販 動 朩 イ を 私 売 1 もチ たち 実際に見て、 するような エ そ ン うがこれ・ して ヤ 村 で 85年生 ンジ エ 森 コツ ま Ż σ で実 してみた 体 恵 ア 験 ケ み でき 施 ッ や \vdash 村 や

話し出すと止まらない 人兄弟の3番目。 努力家で生真面目。 サッカーやビリヤードが好 人見知りながらも、

⇒同じ志を持つ仲間からひとこと



オイスカタイ事務局長 プラヤット・ サバンスック

スティン君はまっすぐ真正直な性格で、 何事にも一生懸命に取り組んでいます。 一方で、誰にでもすぐに気を許すような タイプではなく、最初は私たちとも壁が あり、村の住民たちも、あまり彼を信用 していませんでした。しかし、真摯に森 づくりと向き合う姿を見て、少しずつり ーダーとして認め始めました。今では住 民たちも彼を応援し、活動の打ち合わせ

を兼ねたお酒の付き合いも楽しむほど、すっかり馴染みの存 在になっています。スティン君自身も、これまでの森づくり の活動で培った経験を通じて自信を得て、ますます頑張って います。また電気や大工、機械、農業などさまざまな分野の 知識やスキルを持っていますし、これからさらに活躍が期待 できるスタッフです。初めはなかなか気持ちを許してくれな かった彼が、村で心からの信頼を得て、私やオイスカの仲間 たちの中でも壁を取り去り、生き生きと活動する同志になり ました。一度壁を取り去った相手に対しては彼も絶大の信頼 を寄せてくれます。私も彼を信頼し応援しています。これか らもこの大親友と共に走り続けていきたいです。

フ 本Ĵ

みかメエ んべ ピ ス カ

П



1983年頃

立派に育った みかんとともに笑顔を見せる 2024年 学生たち 写真右:元御殿場市長の鈴木勝巳氏の写真を持つ勝又市長(左)とドマレ学長

> オイスカは1980年代から「LOVE GREEN」をテーマに、苗木一本の国際 協力キャンペーンなど、本格的に植林 プロジェクトに着手。以降、日本から 会員をはじめ、多くのボランティアが 各国に赴き、緑化に取り組んできまし た。その成果は森づくりにとどまらず、 地域産業の振興や国を超えた連携・友 好関係の構築に大きく貢献する事例も みられます。

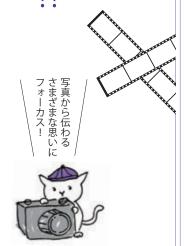
映っているのは ヌエバビスカヤ植林プロジェク| 責任者のマリオ・ロペスさん。

当時のフィリピンのみかんは、 種が多く、酸味の強いものが ほとんどでした

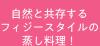
> 81年2月、御殿場市長を退任したば かりの鈴木勝巳氏を団長とするI5名が、 オイスカ静岡県支部が企画したフィリ ピンのヌエバビスカヤ州植林フォーラ ムに参加。静岡から温州みかんの苗木 50本を持参し、記念植樹しました。そ

の後、無事に根付いたみかんの木は、 地元農民によって育てられ、改良が重 ねられた結果、約40年の時を経て、同 州の柑橘類生産はフィリピンにおいて 40%以上を占めるまでに成長。現在で は、「柑橘類生産の首都」と呼ばれるよ うになりました。

そして今年8月20日、国立ヌエバビ スカヤ大学のウィルフレッド・ドマレ 学長一行が、御殿場市の勝又正美市長 を表敬訪問し、40年前の植林のお礼と 柑橘生産の成果を伝えました。一行は 柑橘類研究学部との連携を模索するた め三重大学にも訪問しており、今後の 柑橘類生産拡大に向けて、さらなる意 欲をみせています。











南太平洋の楽園と呼ばれるフィジーで、結婚式やお祝いごとなどの特別な行事のときに振る舞われるロボ。地面に掘った穴に焼き石を入れ、現地の主食であるキャッサバやタロイモ、下味をつけた肉や魚、野菜をじんわり蒸し焼きにするフィジーの伝統的な料理です。その際、食材をココナツやバナナの葉で編んだ籠に入れ、さらに上からバナナの葉で幾重にも蓋をします。作るのに手間と時間がかかりますが、その過程も家族や仲間と楽しみながらのんびりと進めるのがフィジー流です。

過去に駐在していたスタッフによれば、海沿いの 地域では魚が多めだったり、激辛の唐辛子を足して 食べる人もいたりするそうですが、素材の味を活か した素朴な味わいは、日本人の口にも合うおいしさ だそうです。オイスカが農業研修などを担う国立青

年研修センターでも、歓迎の気持ちを込めて振る舞われるのはやっぱりロボ料理! とのこととでで現地をでで現地を訪れる際には、ださい。





お!ススメ OISCA 国内外のオイスカスタッフから、さまざまなジャンルの「オススメ」を紹介します!

地元フィジアンの憩いの場 ナタンドラビーチ



Natadola Beach, Viti Levu Island, Fiji

フィジーの首都があるビチレブ島南西部にあるナタンドラビーチをご紹介。近くにはリゾートホテルもあり、外国人観光客にも人気ですが、地元のフィジアンにとっても憩いの場。休日になると砂浜でBBQをしたり、観光客に伝統的なお土産を紹介したり。海には波待ちをするサーファーの姿も見られます。きれいな海と人々のゆるやかな暮らしの様子が楽しめます。 (山梨県支部S)

温かいご支援 20 がとうござい 24オイスカ夏募金 ま Ū た

保険を、 ともに うメッセージが寄せられ、 り感謝申 さったお一人おひとりに、 を感じます。 クトに多いに賛同します」 作り出すという壮大なプロジェ に使わせていただきます。 て思いを託してくださったこと れる未来」 02人の方々にご支援いただ 目 が集まりました。「住み続けら 202-年の冬から始め、 979万231 となった今回の募金でも 「適切な環境を守りつつ 理解くださり、 世界各地の現場で大切 し上げます。 のためにご協力くだ 皆さまの未来への ご寄附と 円のご寄 信頼し ح ابا 活動 心よ 6

> 2 社 考えていきます。 世界について、 創 |態系保護の取り組みを進 の和によるサステナブルな の事例とともに、 森林を切り口に 循環の輪 める

日 時 時 18時15 Ш 月26日(火) 分

場

所

東京都中央区日本橋-コングレスクエア日本橋2階 3 13

小橋 太田 スピーカー (東京大学名誉教授) 稔睦 猛彦 氏 氏

(東京海上日動火災保険株式会社)

参加 星野 (住友化学株式会社) 正大 費 氏

· 部 ・第2部参加の方は3千円 無料

※ 第 一

お問い合わせ 03 - 3322 -啓発普及部 5 6

> 場所 5 階 I3 時 30 С 日 莳 V 分~15時30 月29日(金

7 大阪府· 大阪市北区芝田 506会議室 18 北梅田研修セ ンター

· · 3

清水利春 (オイスカ関西研修センター所長)

松野浩之 スピーカ

(海外事業部

技能実習担当部

長

からの

お問い合わせ 参加費

TEL ··· 本部・人材育成担当 03 - 3322 -5 | 6

求められるネイチャ

ポジティ

ブへの取り組み~」

と題したト

技能

実習担当者向

け

セミナー&

クイベント

トとして、「『輪と和』

が創るサ

首

[都圏支部20周年記念イベン

ステナブルな世界~日本企業が

2024秋

考えるトー

クイベン

詳細・

TEL 本部・

お申込みはこちら

ステナブルな世界を

流れを踏まえ、

気候変動対策と

v

トは関西支部および関西研修

今年のオイスカ支援連携サミ

お申込みはこちら

然資本を保護するための国際的

クイベントを開催します。

自

な枠組みについての今日までの

インドネシア

方々と技能実習生OBから話を

意見交換を行う予定です。

実習生を受け入れて 制度について説明します。 技能実習制度と今後の育成

いる企業の

また、 就労

8月から9月にかけて本部・海外事業部のスタッフがインドネシア を訪問し、各地のプロジェクトを視察しました。そこで生産されて いる品々をお土産として持ち帰りましたので、ご紹介します! ①は2名様、②~④はそれぞれ1名様にプレゼントします。

施します。

これまでのオイスカ

実績や受け入れ事例とともに

セミナーとトークイベントを実

労制度を見据えて~」

と題した

改正出入国管理法による育成

公開イベントとして、「これから

人材不足にどう対応するか~

されます。 センター

サミット

の2日目に

がホストとなって実施

(3) 4

③4)チプタグラルのバック

2019年からの3年間、「伝統的生活様式を守って生活する共同 体の生活基盤の整備と生活環境の改善、生計向上の支援事 業」を実施したスカブミ県のチプタグラルから届いたバッグ。村で は男性のみが使う(写真右)のだそう。

③38cm(高さ)×31cm(幅)×7.5cm(底部分) ④17cm(高さ)×23cm(幅)×7cm(底部分)

②グデ山麓のコーヒー(豆)

西ジャワ州スカブミ県のグデ山で、2000年代 に進められたプロジェクト地で販売されている コーヒー(100g)です。風光明媚な場所である がために観光地化が進む中、道路の建設用地 として一部の森林が切り開かれるといった不運 を乗り越え、ブランド化に成功したおいしい コーヒーです。

1ラウ山麓の コーヒー(点)

ースでご紹介したイン ドネシアの中部ジャワに位 置するラウ山麓の植林プロ ジェクトで生産されている コーヒー(100g)です。



プレゼントをご希望の方は、はがきかメールに住所、氏名、電話番号を明記の上、下記宛先までお送りください(11月末日締切り)。 「OISCA」編集部 〒168-0063 東京都杉並区和泉2-17-5 gsm@oisca.org

支援 あ 4) が とうござ (1 ま す

İ

新会員の紹介

敬称略) り。(2024年6月1日~8月31 日までの間、 新しく会員になられた方は次の通 維持法人 、本部登録済分。順不同

NPO法人福岡シュタイナー学園 業株式会社【大阪府】UAゼンセン OGFS【愛知県】日本モウルドエ 式会社東北医薬営業部【千葉県】 大阪府支部【香川県】Nambaホ 【北海道】学校法人鶴岡学園北 ルディングス株式会社【福岡県】 文教大学【宮城県】第一三共株

■維持個

県】車谷康太/東原章/髙須賀浩【広島県】吉見修/棚田健司【香川 野滿雄/新宮美恵子/岸貴之/松田亨/野村宏之/前田由実/池 隆裕【福岡県】阪田幸之助/博技研 秋山則仁/角野正明【愛媛県】寺川 井良憲/生田友成【三重県】生川 田光一/上岡健司【愛知県】沢田幸 夫/飯川洋一/遠藤勉【東京都】常 ンター/和田佳活/日下昭則/八 次/眞喜智也/安城ハウジングセ 【北海道】波田大専【宮城県】髙橋睦 谷芳彦/町田倫代/佐古政志/

寄附

でにいただいた寄附は次の通り。 (順不同、 敬称略)

●サミット株式会社/富士山の森 づくりと「海岸林再生プロジェク に 合わせて447万6282

づくりプロジェクトに20万円

)山田甫夫(神奈川県)/北タイ森

開発協力事業に28万3200円 ●リタ・マークス株式会社/海外

クトに合わせて引万46-4円

画に90万円 テルモ株式会社/「子供の森」計

●東京海上ホールディングス株式 4 0 8 円

ェクト」に合わせて60万円供の森」計画と「海岸林再生プロジー全国化学労働組みを表す。)住友重機械工業株式会社/富士

林再生プロジェクト」に50万円)株式会社プロネクサス/「海岸 「の森づくりに50万円

山

の通り。(順不同、

敬称略)

)株式会社大江鐵工/50万円

いただいた寄附(10万円以上)は次 でに「2024オイスカ夏募金」に 2024年6月14日~9月2日ま

、海外開発協力事業に50万円)松中恵子グリーンプロジェクト

株式会社【大分県】森重知美

)松中信彦(福岡県)/海外開発協

献委員会/10万円

般財団法人タイム技研社会貢

久和進

(富山県)

/10万円

瓜生道明

(福岡県)

/10万円

●仙台トヨペット株式会社/「海 4 8 7 5 円 力事業に40万円

●味の素グループ労

素グループ労働組合/「子

2024年7月-日~8月3日ま

働力事業と北タイ森づくりプロジ●ラブ・グリーンの会/海外開発

合わせて15万円

と北タイ森づくりプロジェクトに

村松明(愛知県)/人材育成事業

くりプロジェクトに10万円 ●豊安工業株式会社/北タイ森づ

づくりプロジェクトに10万円 廣瀬幸美(神奈川県)/北タイ森



オイスカ夏募金

ミ研修センター 駐在員がスカブ 守インドネシア 8月25日、 和 ●根本守 (福島県) /10万円

●ユウディケー株式会社/10万円

●泉雅文

(香川県)

10

万円

●勝田好和 (愛知県) / 10 万円

森田克彦 (秋田県) / 10 万円

●森藤左ェ門 (愛知県) /10万円

嶋田隆 (宮城県) /10万円

松井徳之進 (静岡県) /10万円

海外赴任

に赴任しました

今月の表紙写真

Photo by Prayat Savangsookh



ショナル/20万円

)株式会社フレックスインター

八十川紀夫(香川県)

/30万円

後 編 記

これ! と思って材料を集めてみたら、意図 せず「タイ」特集となった今号。現場スタッ フや住民たちのニコニコ写真に励まされなが ら編集を進めました。オイスカには魅力的な 人が多いなとあらためて感じます。 (倉)

JANUARY 2025

(特集))

太平洋諸島の人々と あゆむ(仮)

OISCA II月号 発行人/中野悦子 発行所/公益財団法人オイスカ 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目17番5号 TEL (03) 3322-5161 FAX (03) 3324-7111 E-mail oisca@oisca.org

編集:OISCA /吉田俊通 倉本有アートディレクション/土肥幹人デザイン/土肥幹人 坂巻貴行 倉本有沙 ・製本/株式会社ケープリント

本誌掲載の記事・写真・イラスト などの無断転載を禁じます。



よみがえらせた故郷の 森で採れる蜂蜜は、商 品化して首都バンコク でも販売している、村 自慢の一品です。森の 恵みは、自然に寄り添 って暮らす人々の生活 を豊かにし、朗らかな 笑顔をも引き出してく れます。

(タイ・チェンライ)

理念

人と育む、地球といきる

人々がさまざまな違いを乗り越えて共存し、自然と調和 して生きる世界

Mission

日々果たすべき使命・存在意義

私たちは、すべてのいのちが健やかに守られるよう、 感謝の心を持つ「人」を育み、いのちの土台となる森 づくりや、共に助け合う社会づくりに取り組みます

私たちが大切にしていること

- 互いを理解し尊重土から離れない
- ●感謝の心を持ち、へこたれない「人」を育む
- ●地域に根差し、住民の「良くしたい」を尊重

Visionを達成するために、 私たち一人ひとりが 日々実践する心のあり方

- 先を展望する想像力を持つ
- ●着実に一歩ずつ積み重ねる
- ●仲間とともにチーム力を発揮する
- ●挑戦し続ける
- 経験から学び進化する
- ●感謝の心を持つ●真摯である
- へこたれない
- 人間味にあふれ、楽しみながら!

公益財団法人オイスカ

オイスカは、会員・支援者の皆さまからの会費や寄附金によって運営 されています。「公益法人」としての認定を受けているため、所得税・法 人税・相続税、また、条例で定められた自治体では住民税も控除対象と なります。受領書をお届けしますので、申告の際にご利用ください。

●特別会員(年額1口)

法人/10万円

個人/5万円

●維持会員(年額1口)

法人/ 4万円

個人/2万円

● マンスリーサポーター 個人/月々 2.000円~

- ※特別会員と維持会員には、会員としての差異はなく、口数とともに、自由にお選び
- ※会員、マンスリーサポーターの皆さまには、広報誌「OISCA」をお届けします。 ※新入会年度は、入会月によって納入金額が異なります。

● 「子供の森」計画支援金(年額1口) 個人:法人/5.000円

※海外の支援地域の活動案内(年1回)やニュースレター(年2回)をお届けします。 ※子どもたちからのグリーティングカード(年1回)が届きます。

ウェブからも支援のお申し込みができます ▶ https://oisca.org/

お問い合わせや資料請求のお申し込みは-



〒168-0063 東京都杉並区和泉2-17-5 **(10)** (03) 3322-5161 **(20)** (03) 3324-7111 E-mail oisca@oisca.org https://oisca.org/

国内研修センタ

中部日本研修センタ 関西研修センター 四国研修センター 西日本研修センター

〒470-0328 愛知県豊田市勘八町勘八27-56 回0565-42-1101 回0565-42-1103 〒563-0101 大阪府豊能郡豊能町吉川120 個072-738-3699 20072-738-3901 〒761-2103 香川県綾歌郡綾川町陶5179-1 個087-876-3333 20087-876-3334 〒811-1112 福岡県福岡市早良区小笠木678-1 2092-803-0311 2092-803-0322

北海道支部 〒062-0931 札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8 ラルズ生活研究センター1F 回011-867-9684 回011-867-9685 146時度交換 1002-2031 イルボリック 1007-2003 イルボリック 1007-2003 10

山梨県支部 〒400-0016 甲府市武田1-2-5 3F 図055-267-5951 図055-267-5951 長野県支部 〒380-0838 長野市県町584 長野県経営者協会総務部内 図026-235-3522 図026-235-3529

富山県支部 〒939-2226 富山市下夕林280-3 20076-468-7120 20076-468-7128 静岡県支部 〒431-1115 浜松市中央区和地町5815 20053-401-3980 20053-401-3981

愛知県支部 〒470-0328 豊田市勘八町勘八27-56 オイスカ中部日本研修センター内 **20**0565-42-1162 **20**0565-42-1103 岐阜県支部 〒503-8603 大垣市久徳町100番地 太平洋工業版本社内 **20**584-47-9420 **20**0584-47-9419

関西支部 〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町4-4-1 新御堂ビル 2070-5550-7394 広島県支部 〒730-0041 広島市中区小町4-33 ㈱エネルギアL&Bパートナーズ内 20082-242-7804 20082-242-4706

四国 支部 〒761-2103 春川県綾歌郡緑川町南5179-1 オイスカ四国研修センター内 **回087-876-3333 回087-876-3333** 西日本支部 〒811-1112 福岡市早良区小笠木678-1 オイスカ西日本研修センター内 **回092-803-0311 図092-803-0312**

OISCA NETWORK

〒311-0113 那珂市中台852-9 2029-298-2539 2029-298-2539

〒231-0003 横浜市中区北仲邁3-33 関内フューチャーセンター 曜080-5016-2584 〒510-0958 四日市市小古曽1-1-7 中村建設㈱内 曜059-345-1101 **20**059-345-0745

〒630-8444 奈良市今市町53-6 **@**0742-63-6277 **20**0742-63-6277 **7**00-0011 岡山市北区学南町2-6-11 PORTA美容室内 **@**086-252-3027 **20**086-252-3027

〒770-8555 徳島市寺島本町東2-29 四国電力(納徳島支店総務課内 **國**088-656-4593 **國**088-656-4511 〒790-0924 松山市南久米町乙24-84 **國**070-8524-0349 **國**089-948-8682

〒780-0870 高知市本町1-6-24 高知商工会議所総務企画部内 ■088-875-1177 ■088-873-0572

〒840-0826 佐賀市白山2-1-12-4F 回0952-28-1368 回0952-28-1368

7888-0908 佐賀(市田ビー17-4 画9322-20-1308 **20**532-26-1308 年 7888-0908 佐世保市光東町109 | 城堰内組内 **2**80956-47-2127 **2**80956-48-5069 7865-0055 玉名市大浜町2173-1 丸光ゲループ本社内 **2**80968-76-2161 **2**80968-76-2162 7887-0001 大分市生石港町2-12-14 | 樹大地企画内 **2**80987-533-2101 **2**8097-533-5040 7880-0879 宮崎市宮崎原東2-49 **2**80988-26-5673 7892-0817 鹿児島市小川町15-1 | 関南日本総合サービス内 **2**80999-224-3833

〒902-0077 那覇市長田2-12-9 セレクション長田101 回098-943-2871 回098-943-2881